

社会教育委員会議等での意見に対する第4次グランドビジョンへの反映

資料1

会議名	意見	項目	内容
社会教育委員会議 1-①	世代間交流というキーワードが第4次にはあってもいいのではないか。	運営方針1 生涯の学びを支え、人と人との交流を創出する図書館	P16 施策の方向性（4）本や情報を通じた出会いの場、世代間交流の場の創出 本や情報を通じた出会いや、様々な世代が交流できる機会を創出するために、中央図書館ボランティアとの連携・協力、ビブリオバトルや読書会をはじめとした市民の生涯学習の機会や発表の場を提供します。
社会教育委員会議 1-②	第4次でも、社会教育や生涯教育という内容も入れて欲しい。	運営方針1 生涯の学びを支え、人と人との交流を創出する図書館	P16 施策の方向性（4）本や情報を通じた出会いの場、世代間交流の場の創出 本や情報を通じた出会いや、様々な世代が交流できる機会を創出するために、中央図書館ボランティアとの連携・協力、ビブリオバトルや読書会をはじめとした市民の生涯学習の機会や発表の場を提供します。
社会教育委員会議 1-③	サロンとしての場など、図書館という場に、いろいろな市民が集うという場としての役割をもたせる。	運営方針1 生涯の学びを支え、人と人との交流を創出する図書館	P16 施策の方向性（5）図書館利用促進の取り組みの推進 図書館の利用促進のため、SNSやホームページによる情報発信の充実、「サードプレイス（第3の居場所）」としての場の特徴を生かし、市民の学びや読書などにつなげるなど、さらに居心地の良い空間としての充実を図っていきます。

会議名	意見	項目	内容
社会教育委員会議 1-④	乳幼児からの読書習慣が一番大切である	運営方針2 子どもの読書活動の推進に取り組む図書館	P17 施策の方向性（1）家庭における乳幼児期からの子どもの読書活動推進 乳幼児期からの読書は、子どもの感性や読解力、語彙力を伸ばします。そこで、これからお母さん、お父さんになる「プレママ」「プレパパ」を対象に、子どもへの絵本の与え方や読み聞かせ講座を開催します。また、保護者を対象とした子どもの読書に関する情報提供、学齢期・ヤングアダルト期へと成長する子どもの発達段階に応じた「おはなし会」等の企画事業、「ブックリスト」の作成・配布により、家庭での日常生活における子どもの読書習慣の定着につなげていきます。
社会教育委員会議 1-⑤	乳幼児は基本的には家庭教育の中でお父さんお母さんに対して、どのような絵本を読めばいいのかを教えてください。	運営方針2 子どもの読書活動の推進に取り組む図書館	P17 施策の方向性（1）家庭における乳幼児期からの子どもの読書活動推進 乳幼児期からの読書は、子どもの感性や読解力、語彙力を伸ばします。そこで、これからお母さん、お父さんになる「プレママ」「プレパパ」を対象に、子どもへの絵本の与え方や読み聞かせ講座を開催します。また、保護者を対象とした子どもの読書に関する情報提供、学齢期・ヤングアダルト期へと成長する子どもの発達段階に応じた「おはなし会」等の企画事業、「ブックリスト」の作成・配布により、家庭での日常生活における子どもの読書習慣の定着につなげていきます。

会議名	意見	項目	内容
社会教育委員会議 1-⑥	高齢者への視点を入れてほしい。	運営方針3 多様な利用者が利用できる図書館	P18 施策の方向性（2）高齢者サービスの拡充 人生100年時代と言われる長寿化社会において、高齢者の読書活動は読書習慣の維持・向上にとどまらず健康寿命の延伸としても期待されるものです。健康寿命等に関する特集やイベントの実施とともに、高齢者向けの読書ボランティアの養成にも取り組みます。
社会教育委員会議 1-⑦	多文化共生、外国人労働者など向けのセミナーなどが大切	運営方針3 多様な利用者が利用できる図書館	P18 施策の方向性（3）多文化・多言語サービスの拡充 IFLA/UNESCO多文化図書館宣言（注4）に基づき、すべての市民が情報や知識に公平にアクセスできるよう、多言語のおはなし会の実施や外国語資料の充実など「多文化・多言語サービス」の提供を進めます。
社会教育委員会議 1-⑧	職員の世代間の継承をしっかりと書いてもらいたい。	運営方針4 効果的・効率的な運営による魅力的な図書館	P19 施策の方向性（4）職員の人材育成 本市において蓄積した図書館サービスの専門的な知識・技術の継承と向上のため、計画的な職員育成を行い、市立図書館の運営方針である「一人ひとりの学びを支え、人と人、まちと未来をつなぐ図書館」を目指します。

会議名	意見	項目	内容
社会教育委員会 1-⑨	評価については、結果論を書くのではなく、もともとの目的に対してどれだけの成果が得られたのかの書きぶりが欲しい	第6章 計画の進行管理	P20 年度ごとに取組状況の評価を行い、進行管理するものとします。
社会教育委員会 1-⑩	第4次の段階からどのような形で評価を行っていくかの考え方を示すべき。	第6章 計画の進行管理	P20 目標に対する進捗状況について「各種統計」、「利用者アンケート」等を活用し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく「教育に関する事務の点検及び評価」と社会教育委員会による評価を実施します。
教育委員 1-①	学校との連携を深めながら、子どもたちが図書館に行けば配布されたタブレットで電子書籍と紙の本とを活用しながら、様々な学びが体験できる取り組みをお願いしたい。通信費や量の事もあるので、Wi-Fiも活用できるようにしてもらいたい。	運営方針1 生涯の学びを支え、人と人との交流を創出する図書館 運営方針2 子どもの読書習慣の定着を支援する図書館	P16 施策の方向性（2）様々な形態の資料の整備と新たな生活様式にも対応した環境整備 利用者ニーズや市民が常に情報端末を持つインターネット社会に対応した情報提供を行うため、電子書籍の導入やWi-Fi環境の整備などICTを活用し、コロナ禍後の新たな生活様式に対応した資料やサービスの提供をめざします。 P17 施策の方向性（2）学校図書館の活用に向けたさらなる支援 学校司書の育成や計画的な小学校への学校司書配置など、学校図書館に対するさらなる支援に取り組むとともに、子どもの読書活動の推進に向けて、小・中学校の1人1台のタブレット環境を活かした読書習慣の定着と情報活用能力の向上させていきます。

会議名	意見	項目	内容
教育委員 1-②	<p>タブレットを配布されても全然使わない子どもがいるというケースが報道されています。</p> <p>小学校への学校司書の配置により、学校図書館の仕事を基本としながら、子どもたちが市立図書館利用を電子書籍や図書予約も含めてできるように、つなげてもらいたい。</p>	運営方針2 子どもの読書習慣の定着を支援する図書館	<p>P17 施策の方向性（2）学校図書館の活用に向けたさらなる支援</p> <p>学校司書の育成や計画的な小学校への学校司書配置など、学校図書館に対するさらなる支援に取り組むとともに、子どもの読書活動の推進に向けて、小・中学校の1人1台のタブレット環境を活かした読書習慣の定着と情報活用能力の向上させていきます。</p>
教育委員 1-③	<p>和歌山市立図書館が新しくなり、多くの人でにぎわっています。図書館としての賑わいとともに、本屋としても、カフェとしても来館されており、相乗効果が得られているように思いました。市民の憩いの場として、楽しめる空間創出について検討してもらいたい。</p>	運営方針1 生涯の学びを支え、人と人との交流を創出する図書館	<p>P16 施策の方向性（5）図書館利用促進の取り組みの推進</p> <p>図書館の利用促進のため、SNSやホームページによる情報発信の充実、「サードプレイス（第3の居場所）」としての場の特徴を生かし、市民の学びや読書などにつなげるなど、さらに居心地の良い空間としての充実を図っていきます。</p>
教育委員 2-①	<p>P19 施策の方向性（5）財源確保の取り組みの推進でのアイデアとして、図書館で購入する雑誌を地元企業から広告を付けて寄贈してもらうことによって、地域の図書館として愛着を持ってもらえるのではないか。</p>	運営方針4 効果的・効率的な運営による魅力的な図書館	<p>P19 施策の方向性（5）財源確保の取り組みの推進</p> <p>ふるさと寄附金「子どもに本を届ける事業」のPR活動、図書館壁面及び雑誌カバーへの広告添付や図書館内施設へのネーミングライツパートナーによる広告収入などにより、財源確保の取り組みを推進します。</p>

会議名	意見	項目	内容
教育委員 2-②	中学校に配置された学校司書が、授業にも入って教師と連携しながら授業支援をしていた。今後、学校でiPadを活用する際にも検索方法などを学校司書が紹介するなど検索能力が充実するのではないか。	運営方針2 子どもの読書活動の推進に取り組む図書館	P17 施策の方向性（2）学校図書館の活用に向けたさらなる支援 学校司書の育成や計画的な小学校への学校司書配置など、学校図書館に対するさらなる支援に取り組むとともに、子どもの読書活動の推進に向けて、小・中学校の1人1台のタブレット環境を活かした読書習慣の定着と情報活用能力の向上させていきます。
教育委員 2-③	ビブリオバトルについては、例えば、中学生、高校生、大学生などが一緒にすることによって、本に対する視野も広がり、本を通して人を知るという世代間交流につながるのではないか。	運営方針1 生涯の学びを支え、人と人との交流を創出する図書館	P16 施策の方向性（4）本や情報を通じた出会いの場、世代間交流の場の創出 本や情報を通じた出会いや、様々な世代が交流できる機会を創出するために、中央図書館ボランティアとの連携・協力、ビブリオバトルや読書会をはじめとした市民の生涯学習の機会や発表の場を提供します。
教育委員 2-④	本を読まない子どもたちは語彙力がなく、調べものをする際にも検索キーワードが思い浮かばないことがよく見られる。適切な対象語句が浮かんでこないのだ。読書や本などを使った調べる学習がいかに大切かということを感じます。	運営方針2 子どもの読書習慣の定着を支援する図書館	P17 施策の方向性（2）学校図書館の活用に向けたさらなる支援 学校司書の育成や計画的な小学校への学校司書配置など、学校図書館に対するさらなる支援に取り組むとともに、子どもの読書活動の推進に向けて、小・中学校の1人1台のタブレット環境を活かした読書習慣の定着と情報活用能力の向上を支えていきます。

会議名	意見	項目	内容
<p>教育委員 2-⑤</p>	<p>他市の学校を視察した際に、学校司書が美術の授業で絵本などを使って説明をしていた。そのことによって、児童・生徒の美術の視野が広がった。今後は、学校図書館の整備だけでなく、授業にいかに入っていくかが重要。そのためには、小学校への学校司書配置は本当に有効であると思う。</p>	<p>運営方針2 子どもの読書習慣の定着を支援する図書館</p>	<p>P17 施策の方向性（2）学校図書館の活用に向けたさらなる支援</p> <p>学校司書の育成や計画的な小学校への学校司書配置など、学校図書館に対するさらなる支援に取り組むとともに、子どもの読書活動の推進に向けて、小・中学校の1人1台のタブレット環境を活かした読書習慣の定着と情報活用能力の向上を支えていきます。</p>
<p>教育委員 2-⑥</p>	<p>中学校に学校司書が配置されたことによって、学校司書が子どもたちの読書相談にのっている姿は、カウンセリングだった。小学校はもっとカウンセリング機能が必要となり、また、その効果が出せると考えている。</p>	<p>運営方針2 子どもの読書活動の推進に取り組む図書館</p>	<p>P17 施策の方向性（2）学校図書館の活用に向けたさらなる支援</p> <p>学校司書の育成や計画的な小学校への学校司書配置など、学校図書館に対するさらなる支援に取り組むとともに、子どもの読書活動の推進に向けて、小・中学校の1人1台のタブレット環境を活かした読書習慣の定着と情報活用能力の向上させていきます。</p>

会議名	意見	項目	内容
<p>庁内委員会 1-①</p>	<p>館内Wi-Fi環境の整備は必要なのか。</p>	<p>運営方針1 生涯の学びを支え、人と人との交流を創出する図書館</p> <p>運営方針3 多様な利用者が利用できる図書館</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(理由) 紙媒体の図書等と合わせて、インターネットや電子書籍を活用して調査研究を進める必要があるため。また、教育委員からも活用の意見あり。</p> </div>	<p>P16 施策の方向性（2）様々な形態の資料の整備と新たな生活様式にも対応した環境整備</p> <p>利用者ニーズや市民が常に情報端末を持つインターネット社会に対応した情報提供を行うため、電子書籍の導入やWi-Fi環境の整備などICTを活用し、コロナ禍後の新たな生活様式に対応した資料やサービスの提供をめざします。</p> <p>P18 施策の方向性（1）全ての人が利用しやすいサービスの充実</p> <p>読書バリアフリー法に基づき、文字拡大や読み上げ対応ができる電子書籍の導入やマルチメディアDAYS（デイジー）の視覚障害児者以外への利用促進などICTを活用したサービスに取り組むとともに、障害に応じたサービス、アクセシブルな形態の資料の提供・利用環境の整備を行います。</p>
<p>庁内委員会 幹事会 2-①</p>	<p>図書館行政として何を指しているのかわからない。計画の軸を定めるべき。ただやりたいことを書いているように見える。</p>	<p>第4章 第4次グランドビジョンの基本的な考え方</p>	<p>P15 本計画においては、図書館の使命を資料・情報の提供であると捉えるとともに、誰にでも開かれた「知の拠点」として市民一人ひとりに寄り添い、より豊かな暮らしや、まちづくり、まちの魅力向上に資するため、「一人ひとりの学びを支え、人と人、まちと未来をつなぐ図書館」を目指します。</p>

会議名	意見	項目	内容
庁内委員会 幹事会 2-②	電子書籍の導入が、障害者サービスにどう効果があるのかわからないので、明記すべき。	運営方針3 多様な利用者が利用できる図書館	P18 施策の方向性（1）全ての人が利用しやすいサービスの充実 読書バリアフリー法に基づき、文字拡大や読み上げ対応ができる電子書籍の導入やマルチメディアDAYSY（デイジー）の視覚障害児者以外への利用促進などICTを活用したサービスに取り組むとともに、障害に応じたサービス、アクセシブルな形態の資料の提供・利用環境の整備を行います。
庁内委員会 幹事会 2-③	細かく詰め込みすぎている。これだけの内容を実現することは難しいのではないか。主な取り組みについては書かず、大きな方向性ぐらいの内容としてはどうか。	第5章 施策の方向性	各運営方針の中で。施策の方向性を示した。
庁内委員会 2-①	成果と課題で、滞在型図書館としての成果を上げているので、第4次に繋がることを書いたほうがいいのではないか。	今後の課題	P12 充実 「サードプレイス（第3の居場所）」としての場の特徴を生かし、市民の学びや読書などにつなげるなど、さらに居心地の良い空間としての充実

会議名	意見	項目	内容
<p>庁内委員会 2-②</p>	<p>(素案) P19、P14 人材育成について書かれているが、ではどういった専門性を持った職員が必要なのが見えてこない。</p>	<p>運営方針4 効果的・効率的な運営による魅力的な図書館</p>	<p>P20 施策の方向性（4）職員の人材育成</p> <p>公平で長期的な視点を持って図書館蔵書を構築・提供し、市民ニーズを把握して新たなサービスを企画・立案・実行し続ける人材を確保し、本市において蓄積した図書館サービスの専門的な知識・技術の継承と向上を図ることで、市立図書館や学校図書館で適切に業務遂行が行えるよう計画的な職員育成を行います。</p>
<p>庁内委員会 2-③</p>	<p>電子書籍の導入は、(素案) P16のコロナ禍後の対応と(素案) P18読書バリアフリー法などにも対応しているものと思うが、そもそもコロナがなくても、電子書籍の必要性はあったのではないか。人生100年時代に向かう中で、今後、図書館に行きたくても行けない人が出てくる、わざわざ行かなくても読書ができるということや、そもそもICT進展の中、今後のサービスに必要なものであるということを書いている方がいいのではないか。</p>	<p>運営方針1 生涯の学びを支え、人と人との交流を創出する図書館</p>	<p>P16 施策の方向性（2）様々な形態の資料の整備と新たな生活様式にも対応した環境整備</p> <p>利用者ニーズや市民が常に情報端末を持つインターネット社会に対応した情報提供を行うため、電子書籍の導入やWi-Fi環境の整備などICTを活用し、コロナ禍後の新たな生活様式に対応した資料やサービスの提供をめざします。</p>